

広報 
No.708
令和5年

いいいたて

2
2023



the most beautiful
villages
in japan

飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

www.vill.iitate.fukushima.jp

今月の話題
vol.32

1
342票

福島県沖地震発生

3月16日午後11時36分、福島県沖を震源とするマグニチュード7.4の地震が発生し、飯館村では震度6弱を観測。村は災害対策本部を立ち上げ、被害状況の確認や対応にあたりました。断水した地区では翌17日に自衛隊による給水を実施。また約90軒で屋根瓦の落下が確認され、役場総務課を窓口に応急処置用ブルーシートを配布しました。



あなたが選ぶ
村のニュースベスト10

令和4年に飯館村で起きたできごと50項目から皆さんに投票で選んでいただいた10大ニュースの結果発表です!

あなたが選ぶ村のニュースベスト10!

皆さんの投票で決定した10大ニュースで令和4年を振り返ろう

10大ニュースで1年を振り返る動画も見てね

皆さんの投票でその年の10大ニュースを決定する『あなたが選ぶ村のニュースベスト10』。昭和63年から続いている恒例のイベントです。昨年末の募集開始から1月13日の締め切りまでに届いた511票を集計。令和4年の10大ニュースが決定しました。
「新春村民のつどい」の開催が昨年に見送られたため、今年もオンラインによる発表で前年を振り返ります。公開は2月中旬から。ぜひお楽しみください。

公開日は村HPでお知らせします。

10大NEWS 発表動画 近日公開!

飯館村10大ニュースの詳しい発表はYouTubeの飯館村公式チャンネルで!

左のQRコードから。または「飯館村10大ニュース」で検索してね!

8問正解で金賞GET!
抽選の結果 見事当選!

金賞の連絡をいただき本当にびっくりしました。旅行券を使ってのんびり温泉に行きたいなあ。村の1年間のできごとが身近に感じられ、一歩ずつ前進しているなと感じました。

三浦真由美さん (小宮)

金賞の賞品は
5万円分の旅行券!

8問正解者は11人。厳正なる抽選の結果、三浦さんが金賞に輝きました。



今月の表紙
1月12日、役場庁舎のエントランスホールで、だんごさしを行ってくださった前田行政区の皆さんです。大きなミズギがそれは美しく飾られて、ホール全体がパッと明るく華やぎました。多くの来庁者や職員が通るたびに見上げ、写真を撮るなどして観賞していました。

- 9 173票
長泥地区で「準備宿泊」始まる
「準備宿泊」は9月23日から。拠点区域の避難指示解除に向けた取り組みが続きます。
- 9 173票
「道の駅までい館」開業5周年
開業5周年を記念して「までい牛ハンバーグ定食」がレストランに登場しました。
- 8 191票
「ぶくしま駅伝」単独出場で力走
今大会も単独チームで出場。補欠選手がいない中、全選手が完走しタスキをつなぎました。
- 7 221票
新しい店舗が次々にオープン
レストラン「ラカッセ」「はりきゅうカシエット」、ゲストハウス「COCODA」などが開業。
- 6 232票
飯館産黒毛和牛の牛肉を販売
佐藤一郎さんが育てた黒毛和牛の牛肉(A5ランク)を5月に道の駅で販売。即日完売!
- 5 237票
「はやま湖花火大会」湖上の花火
7月30日、600人以上の観客が集まり、迫力満点の湖上の花火を楽しみました。
- 4 244票
「飯樋四区復興祭」4年ぶりに開催
コロナ禍による2度の延期を乗り越え大雷神社遷宮大祭に合わせて10月に開催。
- 3 288票
新型コロナウイルスの集団接種
新型コロナウイルスの村内集団接種で年内に延べ約5000人が接種を受けました。
- 2 334票
高病原性鳥インフルエンザに対応
12月に高病原性鳥インフルエンザが発生し県の主導で防疫措置を完了しました。

飯館村の医療の現場から

村は、「村民の今を支える取り組み」の最優先課題の一つ、『医療・介護・福祉環境の強化』に向け、さまざまな角度からアプローチを行っています。

そのような中、昨春、本田徹先生が村に移住し、常勤医として「いいたてクリニック」に着任。『訪問診療』を行っていただけるようになりました。また本田先生の活動を通して、村と医療従事者、あるいは医療従事者同士が、より多くの現場でつながり始めています。医療を必要としながら声をあげずにいる人たちにも手を伸ばそうと試みる、本田先生のアウトリーチの実践が、村の医療環境を耕し、新たな芽吹きを促しています。

アウトリーチ＝「手を伸ばす」という意味。社会福祉の分野では、助けが必要な状態にあるにもかかわらず自ら申し出ない人たちに対して積極的に働きかけ支援を届けることを指します。



本田先生×花井トヨさん(伊丹沢)

本田先生のハーモニカで歌を歌うこともあるというトヨさん。5年ほど前に寝たきりになり、帰村後に亡くなった息子の妻・照代さんが在宅で介護しています。刺身や味噌汁が好きで、正月には「餅が食べたい」とリクエスト。あんこ餅・つゆ餅を「うまいなあ」と口にしたそうです。川俣町内のデイサービスに週2回通う他、「訪問看護ステーションあがべご」の訪問看護も利用しています。

せんが、もう少し頑張りたい」と決意をにじませます。「ネットワークを活かして協力体制をつくることができれば、村の医療が持続可能なものになります。診られる人も診る人も共に老いていく、新しいチャレンジでもあるのですよ」。

半世紀に及ぶ経験と信念を胸に、本田先生が飯館村の医療の未来を見つめています。そして今日もまた、患者さんのもとを訪れ、心を通わせながら診療を続けています。

本田徹先生の訪問診療

『訪問診療』では医師が診療計画に基づき定期的に訪問します。急変時や緊急時に訪問し診療を行うのは『往診』です。本田先生はその両方を行っています。今回は本田先生の『訪問診療』に同行させていただきました。

飯館村に移住をして間もなく1年。「皆さんに温かく迎えていただけてありがたい」と本田先生はやさしい笑顔を見せました。「いいたてクリニック」では火曜日の外来を担当。それ以外の日は訪問診療にあてています。

医学的な理由で食事ができない人や酸素吸入が必要な人でも、在宅で医療を受けることができれば、訪問看護や訪問入浴を利用しながら、住み慣れた家で暮らすことが可能です。「よりよい医療を届けるには、生活全般の状況を理解することが大切です」と本田先生。患者さんと対話をする様子からも、一人ひとりの生き方に寄り添い尊重する先生の姿勢が垣間見えます。「いいお医者さんだよ。やさしい人だ」。患者さんがつぶやきます。

訪問診療が多くの人に届き始めた今、本田先生はより深い課題にも手を伸ばしたいと考えています。「声をあげずに一人で頑張っている人にも医療を届けたい。余計なお節介りかも知れないけれど、そこに一つの『医療の最前線』があると考えています」。また、「年齢的に、私自身がどこまでできるか分かりま

本田先生×高橋タマ子さん(深谷)



高橋さん(写真中央)は、週に1度の訪問診療で、持病の経過を診てもらっています。「ここは団地の皆さんが助け合っていていいよね。お正月には東京にいる息子さんも来てくれたんだよね」と暮らしぶりも見守る本田先生。隣家の村山キサノさん(写真右)はクリニックに通院してお世話になっているそうです。

本田先生×岡本 易さん(関沢)



愛妻の葉子さんと村に移住し夢の実現に邁進してきた岡本さん。昨年病気を患い本田先生が予後を診ています。体調の確認から話題が広がり、友人がラカッセで開いてくれた快気祝いのごこと、最近読んだ本のごこと、モスクワ留学時代の思い出まで…。本田先生に語る岡本さんの笑顔がどんどん快活になっていきました。

本田先生×草野シゲ子さん(関沢)



森林組合で働くご主人を支えながら農業に勤しみ、ソフトボールもやっていたという頑張り屋のシゲ子さん。ご主人を亡くした後も、家族を大切に、家を守って暮らしてきました。「血圧が高いなあ。シゲ子さんは漬物名人だけど、塩分は摂り過ぎないよう気をつけてね」。敬意を込めていたわる本田先生です。

国内の病院で勤務した後に青年海外協力隊員としてチュニジアに赴任。「日本国際ボランティアセンター」を経てNPO法人「シェア＝国際保健協力市民の会」を設立。国外での医療支援、阪神淡路大震災の医療支援などを行いながら、東京都・山谷(さんや)地区での医療活動、在日外国人の医療支援にも長く携わりました。その活動の様子は平成25年にNHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」でも紹介されています。東日本大震災の救援活動では宮城県気仙沼市に入り、福島労災病院(いわき市)の非常勤医を経て、平成31年から高野病院(広野町)の勤務医に。その後、飯館村で訪問看護ステーションを立ち上げていた星野勝弥さんから村の窮状を聞き訪問したことをきっかけに移住を決意。令和4年4月から「いいたてクリニック」の常勤医となり、訪問診療をスタートしました。

本田徹先生のこれまで

※ラカッセ＝村内のレストラン

あがべご訪問看護ステーション

飯館村飯樋字町387
☎0244-32-1463/080-1663-2572

星野勝弥さん(飯樋町)が代表を務める訪問看護ステーション。6人の看護師が所属し、利用者約20人の定期訪問を担っています。「それぞれに経験を積んだ人が、志を持って、スタッフになってくれています」と星野さん。「多様な力を発揮できることは、このチームの強み」と笑顔を見せました。

看護師と保健師の資格を持つ星野さんは、「飯館村で、帰還する高齢者の暮らしを支えたい」と、平成29年に移住。飯館村地域包括支援センター勤務を経て、令和2年に訪問看護事業を立ち上げました。

昨年スタートした本田先生との連携も、ケアの効果を上げています。「医師と看護師がここまで濃密に関わりながら患者さんのことを考えられる地域はなかなかないと思います。これからも利用者さんに喜んでもらえるよう、最適なケアを提供していきたい」。

“今の世の中が失ったものを埋めていくチャレンジ”と前を向く星野さんの思いが、今、多くの縁を引き寄せながら、一つの形になろうとしています。



蔵を改装した事務所の前で。三瓶たつ子さん(写真左/大久保・外内)が事務を手伝います。

あがべご・木村明美さん×須藤徳春さん(比曾)



バイタルサイン(脈拍・呼吸・体温・血圧など)をチェックし、本人や家族と対話をしながら、服薬の確認や身体の清拭を進めていきます。身体の位置を動かす際には、寝ている徳春さんが「ヨイショヨイショ」と掛け声を出して、皆大笑い。木村さん(写真右)は「いつも私の方が元気をもらいますね」と笑顔で話しかけていました。

訪問看護とは 医師やケアマネージャーと連携し在宅で療養生活を送っている方の看護を、看護師が訪問して行うサービス。日常生活の看護、疾病の悪化防止・予防の支援、ターミナル(終末期)ケア、心のケア、服薬の管理など、内容は多岐にわたります。介護保険で要介護・要支援の認定を受けている方で、主治医が必要と認めた方が対象となります。



訪問看護ステーションあがべご
定休日/土日曜日・祝日
時間/午前9時～午後5時
訪問エリア/飯館村・川俣町
と南相馬市・福島市・相馬市・
浪江町の一部

医療・介護のよりよい環境づくりに向けて 健康福祉課 石井秀徳 課長

本田先生が着任され、火曜日は午後までクリニックの診療が行えるようになりました。また、訪問診療により、通院ができない人にも医療を提供できるようにになりました。何より村内に医師がいてくれる、その安心感が以前とは違うと思っています。さらには地域サロンでの健康講話なども引き受けていただいています。

村は、毎週の面談を通して本田先生と情報を共有しています。また、1月からは、先生が訪問診療に向かう際の車の運転手を確保しました。

村も、検診結果に基づく保健指導を丁寧に行い、栄養教室、運動教室などを開催して、村民の介護予防、健康増進に取り組んでいます。また、二つひとつの課題やニーズに向き合い、より安心して暮らせる環境づくりを粘り強く進めています。

飯館村伊丹沢字山田380 ☎0244-68-2277 いいたてクリニック

地域医療に貢献する社会医療法人秀公会「あづま脳神経外科病院」が指定管理者として運営する公設民営のクリニックです。



総合診療科 診療時間

火曜日
午前9時～正午
(受付:午前8時30分～11時30分)
午後1時30分～3時
(受付:午後1時～2時30分)

木曜日
午前9時～正午
(受付:午前8時30分～11時30分)



木曜日の診療を担当
斎藤徹先生

平成22年4月に公設民営の診療所として診療を開始した「いいたてクリニック」。地域密着型の医療施設として、多くの村民が利用しました。ところが翌23年に震災と原発事故が発生し、村は計画的避難区域となりました。クリニックは、村民の避難が始まってからも、役場が機能移転をする6月22日まで診療を続けました。

平成29年3月の避難指示解除が決まると、クリニックは平成28年9月に診療を再開。診療日は週2日となりましたが、帰村した村民の医療環境を、温かく支えていただいています。

そして令和4年4月、本田徹先生が初の常勤医として着任しました。

院内処方を行っています



薬剤師 八城弘樹 さん

「いいたてクリニック」では、令和2年4月から、院内処方を行っています。他のかかりつけ薬局を利用することもできますが、多くの患者さんが院内処方を利用しています。

本田先生が訪問診療を行う患者さんにも処方します。高齢の方は薬の数が多くなりがちですので、処方された薬の必要性や飲み方を分かりやすく伝えるよう心がけています。

クリニックの診療日に生活支援ワゴンを運行



村が運行する「生活支援ワゴン」を通院に利用することができます(帰村して原則運転ができない方が対象です)。利用希望日の2日前までにご予約ください。☎0244-26-5207(サポートセンターつながっぺ)

福島県は急性心筋梗塞で亡くなっている人の割合が男女とも全国1位です!

	男性	女性
福島県	211.0	203.0
飯舘村	278.3	172.9

人口動態特殊報告(H25-29)より

◀急性心筋梗塞で亡くなる方について
全国平均を100としています。県全体
で見ると平均より2倍近い死亡率です。

◀村の値をみると、特に男性の死亡率
が高くなっています。

冬場に心筋梗塞を予防するための注意すべき10か条 (国立循環器病研究センター公表)

- 1 冬場は脱衣室と浴室を暖かくしておく。
- 2 風呂の温度は38~40度と低めに設定。熱い湯(42~43度)は血圧が高くなり危険です。
- 3 入浴時間は短めに。
- 4 入浴前後にコップ一杯の水分を補給する。
- 5 高齢者や心臓病の方が入浴中は、家族が声を掛けチェック。
- 6 入浴前にアルコールは飲まない。
- 7 収縮期血圧が180mmHg以上または拡張期血圧が110mmHg以上ある場合は入浴を控える。
- 8 早朝起床時はコップ一杯の水を補給する。睡眠時の発汗で血液が濃縮しています。
- 9 寒い野外に出る時は、防寒着、マフラー、帽子、手袋などを着用し、寒さを調整しましょう。
- 10 タバコを吸う方は禁煙をしましょう。

朝の給水は
ぬるま湯が
おすすめ

予防に取り組みましょう!

本田先生に聴く

こころとからだのいのちの詩

いいたてクリニック 本田 徹 先生



第4回

冬のヒートショックと 心臓発作を予防しましょう

戦後の農村では脳血管系の病気が、とくに脳出血が住民の主要な死亡原因を占め、これをいかに減らすかが大きな課題でした。私が青年医師時代にお世話になった信州佐久地域では、早くから脳出血予防のための取り組みが行われ、減塩食の普及と冬の寒さ対策が二本柱になっていました。後者については、冬期間、家の中にせめて一だけ、家族全員が温かく過ごせる部屋(居間)を作ることとを住民に勧めてきました。それでも、便所が家の外にあり、中にもあっても寒かったり、用便中に脳卒中や心臓発作を起こして亡くなったり、重い後遺症を負う方も多かったのです。

県民全体の努力の結果、長野県は男女とも、全国でも冠たる健康長寿県となり、長年続けることができました。幸い、現代の日本では脳出血のような病気が減りましたが、冬期間に、入浴などの際、10度以上の環境温度の急激な変化により急死される方が、高齢者を中心に年間1万人以上いると推定されています。これは、温かい部屋から、寒い浴室や便所に移動し、さらに浴槽で急に体が温められ、ヒートショックと呼ばれる、血圧や循環機能の乱調が起きた結果と言われています。心臓発作により、助けを求め間もなく、浴槽内で溺死するといった、悲劇的なケースもあとを絶ちません。

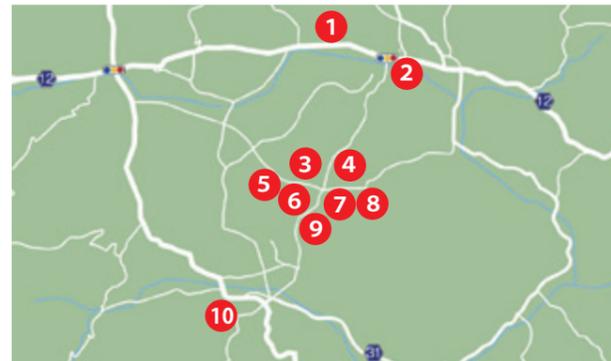
死につながる心臓発作には主に二種類あり、心筋梗塞と重い不整脈です。どちらも、前触れなく起きるという意味で、大変こわい病気です。高血圧や糖尿病などの基礎疾患に加え、生活習慣としての、喫煙、過度の飲酒、平素の運動不足、過労、不眠、過重なストレスなどもリスク因子となります。

普段からの体調管理や、持病の適切な治療が大切なことはもちろんですが、ヒートショックを招かないように、入浴室の更衣場に暖房を整えるなどして、温かい冬をお過ごしください。

AED いざという時 生命を救う

AED=自動体外式除細動器は、心室細動と呼ばれる不整脈(心臓のけいれん)を起こした心臓に電気ショックを与え、元の収縮を取り戻させる機器です。使用を開始すると自動で心電図を解析し、音声や表示で指示を出します。

確認しておこう! 村内施設の主なAED設置場所



- 1 道の駅までい館 ☎0244-42-1080
- 2 交流センター「ふれ愛館」 ☎0244-42-0072
- 3 飯舘村役場 ☎0244-42-1611
- 4 いいたてスポーツ公園管理棟 ☎0244-42-0152
- 5 村社会福祉協議会 ☎0244-42-1021
- 6 いちばん館 ☎0244-42-1637 (健康福祉課)
- 7 いいたてクリニック ☎0244-68-2277
- 8 サポートセンターつながっぺ ☎0244-26-5207
- 8 いいたて希望の里学園 ☎0244-42-0003
- 9 いいたてパークゴルフ場 ☎0244-42-1571
- 10 村地域防災センター ☎0244-42-1611 (総務課)



専用ボックスでAEDが設置されている場所



2 交流センター
入口から続く廊下事務所付近の窓際



3 村役場
1F 税務係窓口前



4 スポーツ公園
管理棟の入口



6 いちばん館
ホールの入口



8 希望の里学園
職員室前



8 希望の里学園
第1体育館入口



8 希望の里学園
第2体育館入口

■ 一次救命措置の手順 倒れた人を目撃したら、周囲の安全を確認し救命措置を開始。

- 1 肩をたたきながら声をかけ、反応の有無を確認。
- 2 反応がない場合は大声で人を呼び、119番通報とAEDを持って来るよう頼む。
- 3 呼吸の有無を確認。
- 4 呼吸がない場合は、胸骨圧迫(心臓マッサージ)を開始。「強く」「速く」「絶え間なく」。
- 5 AEDが到着したら電気ショックを行います。

■ AEDの使用手順 AEDの心電図の解析が始まるまでは、心臓マッサージを続けます。

- 1 電源を入れると音声の指示が始まる。胸がぬれている場合は拭き取り、何か貼られていたらはがす。皮膚の下にペースメーカーなどが埋め込まれている場合(皮膚の下に硬いこぶのようなものがある場合)はそこを避ける。※子ども用パッド・小児モードを備えた機器もあるが、ない場合は子どもも大人と同じパッドを使う。
- 2 電極パッドを貼る。貼る位置はパッド等に描かれている。
- 3 AEDが自動的に心電図を解析し音声などで指示を出す。心電図の解析が始まったら胸骨圧迫をやめ、倒れている人から離れる。
- 4 電気ショックが必要な場合は「電気ショックが必要です」と音声の流れ、充電が始まる。充電が終わると「ショックボタンを押してください」という音声や充電終了の連続音の流れ、ショックボタンが点滅する。「離れて」と周りの人に注意し、誰も触れていないことを確認し、ショックボタンを押す。
- 5 電気ショックの後すぐに胸骨圧迫を再開。AEDが再び心電図を解析して2分ごとに電気ショックが必要か指示を出す。指示に従い、救急車の到着まで継続する。



最優秀賞
菅野あかりさん
(希望の里学園2年生)

どうぶつ園ではパンダが大人気です。夜はねているのでほかのどうぶつがパンダになります。わたしのお気に入りのパンダのぬいぐるみをカバが木のかげからぬいぐるみと顔を出せばめで、何回見てもおもしろくてわらってしまいます。



『よるだけパンダ』大塚健太
小学館



優秀賞
山田ゆりさん
(希望の里学園7年生)

あなたが思う「いい人」はどんな人だろう。主人公の桃が本当の「いい人」について考えていく話である。私が「いい人」だと思っていた人も違う一面がある。「いい人」でなくても共に生きていくことが大事。私はそう受け取った。



『いい人ランキング』吉野万理子
あすなる書房



優秀賞
原田 朋さん
(深谷)

普通って何だろう。子供の頃、周りと違うことからかわれた経験がある人も少なくないのではなか。主人公は刺繍が大好きな男の子。多様性が認められてきた今の時代だからこそ学生のうちに読んでもらいたい一冊です。



『水を縫う』寺地はるな
集英社

第23回 読書メッセージコンテスト

素敵な本と出会しましょう

おすすめの本の紹介文を募る「読書メッセージコンテスト」。本との出逢いが広がることを願って、村が毎年実施しているコンテストです。

第23回「読書メッセージコンテスト」の審査結果を公表します。入賞作品は、昨年11月の審査会で決定し、12月下旬に村役場および「いいたて希望の里学園」で、表彰式を行いました。

素敵なメッセージをご応募いただいた皆様、ありがとうございました。



第23回 読書メッセージコンテスト 審査結果

(敬称略)

	氏名	おすすめの本・作者
最優秀賞	菅野あかり(いいたて希望の里学園2年)	『よるだけパンダ』大塚健太
優秀賞	眞柴鳳士(いいたて希望の里学園2年)	『ばあばにえがおをとどけてあげる』文コーリン・アーヴェリス/絵イザベル・フォラス/訳まつかわゆみ
	山田安土(いいたて希望の里学園5年)	『ゆりの木荘の子どもたち』作 富安陽子/絵 佐竹美保
	山田ゆり(いいたて希望の里学園7年)	『いい人ランキング』吉野万理子
	末永紗稀(いいたて希望の里学園8年)	『ぐりとぐら』作 なかがわりえこ/絵 おおむらゆりこ
	原田 朋(村民/深谷)	『水を縫う』寺地はるな
佳作	花井咲心(いいたて希望の里学園3年)	『ココロ屋』作 梨屋アリエ/絵 菅野由貴子
	花井聡一郎(いいたて希望の里学園4年)	『これからはじめる狩猟入門』原田祐介
	礒山姫夢(いいたて希望の里学園9年)	『わたしのせいじゃないーせきにんについてー』文レイフ・クリスチャンソン/訳にもんじまさあき/絵ディック・ステンペリ
	菅野拓真(いいたて希望の里学園9年)	『しあわせ』文レイフ・クリスチャンソン/訳にもんじまさあき/絵ディック・ステンペリ
	佐藤郁子(村民/深谷)	『おおはくちょうのそら』手島圭三郎

普段自分では選ばない本との出逢いを楽しんでね。



※受賞者の皆さんがおすすめした本は、交流センター「ふれ愛館」で借りることができます。お気に入りの1冊を見つけてください。

令和4年 第10回 飯館村議会定例会

令和4年12月議会定例会は、12月19日から26日までの日程で開かれました。一般質問は21・22日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議会審議は26日に行われ、提出された議案は全て原案どおり可決されました。通常、12月議会の報告は、広報1月号に掲載しておりますが、会期日程延期に伴い2月号に掲載します。



今議会で可決された議案など

紙面の都合上、一部省略しています

令和4年度一般会計補正予算

令和4年度簡易水道事業特別会計補正予算

令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算

令和4年度介護保険特別会計補正予算

飯館村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

職員の分限に関する条例の一部を改正する条例

村長村政報告

紙面の都合上、一部省略しています

高病原性鳥インフルエンザ

令和4年12月7日に村内で発生が確認された高病原性鳥インフルエンザについては、福島県が主体となって防疫措置を行い、同月11日までに、発生農場における埋却、鶏舎消毒等の作業が終了しました。なお、動員人数は同月11日現在で、県職員・延べ646人、本村を含む相双管内市町村・団体職員・延べ239人の合計885人でした。

村では、引き続きまん延防止のための措置に努めるとともに、情報収集を行い、周知を図ってまいります。

帰還困難区域について

令和4年9月23日から、帰還困難区域、長泥地区の特定復興再生拠点区域において、準備宿泊が開始されています。

これは、令和5年春の避難指示解除を目標とする中で、住民の方々の宿泊のほか、自宅の本格的な修繕や清掃等にも活用でき、避難指示解除までの期間実施するものです。

11月20日には長泥地区住民説明会を実施し、現在の空間線量率やインフラ整備の状況について説明するとともに、特定復興再生拠点区域の「避難指示解除時期を令和5年のゴールデンウィークあたりとする」ことを、ご了承いただきました。

また、特定復興再生拠点区域外のうち、「線量低減化実証事業等の効果を確認する場（通称「公園用地」）についても、「拠点区域と同時期に避難指示解除することをご了承いただきました。

引き続き、長泥地区の方々の準備宿泊及び避難指示解除、そしてその先にある「夢のあるふるさと長泥」の創出に向かって、最大限の努力をもって住民福祉の向上に努めます。

移住ツアー「ミチシル旅」

8月、9月、11月の計3回にわたり、移住ツアー「ミチシル旅」を実施しました。感染防止対策

村民の帰還状況

令和4年12月1日現在の村への帰還者は638世帯、1232人で帰還率は約25.5%です。これに、震災後の転入者223人といたってホームの入所者等を合わせ、村内の居住者は789世帯で1508人です。

避難を継続している方は、県外避難者が163人、県内避難者は、福島市に2089人、南相馬市に290人、伊達市に261人、川俣町に246人など、合わせて3166人です。

金婚のお祝いについて

令和4年度、結婚から50年となり金婚を迎えられたご夫妻は、12組でした。本来であれば、敬老会の席上でご紹介し記念品をお渡しするところでしたが、コロナ禍により敬老会をやむなく中止しました。お祝いの品を贈呈するため、直接ご自宅にお伺いし、夫婦円満の秘訣や今までの苦労話等、とても貴重なお話を伺いました。

新型コロナウイルス接種

初回（1回目・2回目）接種率は86.1%、3回目接種率は78.5%です。「いちばん館」での集団接種は、令和4年9月からオミクロン株対応ワクチンに切り替え、これまで計8日間の実施で接種人数は1159人となっています。避難先自治体での接種を合わせると、令和4年12月1日現在のオミクロン株対応ワクチンの接種人数は1598人です。

鳥獣被害対策

令和4年4月1日から11月21日までに、イノシシ64頭、サル58頭の駆除を実施しました。また、捕獲した鳥獣を減容化する施設建設は、村クリアセンター敷地内において建設工事が進んでおり、令和4年度内の完成を見込んでいます。

建設関係

村道機能回復工事は令和4年度計画している30路線、延長9.5kmについて、令和4年12月末の完了を見込んでいます。村道の除雪は、行政区委託に

よる除雪の体制を整え、今後、伊丹沢、上飯樋、関根・松塚、前田・二枚橋・須萱の5つの行政区と契約し、住民参加型の除雪を進めていきます。

教育委員会関係

令和3年度は実施が見送られました。今年度は前期課程による稲刈り体験授業を行いました。平成30年度から児童たちが村内での米作りを続けてきた中で、自分たちが植え、稲刈りをしたお米を、学校給食で食べることであります。

10月20日から7日間開催した総合文化展には、こども園と希望の里学園を含め、村内外から約600点の作品が展示されました。

パークゴルフ場は令和4年4月1日から11月30日まで210日間開場し、延べ4201人の利用がありました。

1617人の利用がありました。また、令和4年11月末からは、あいの沢「基本構想」の策定に着手しており、あいの沢を訪れる方々がより利用しやすい、喜ばれる施設となるよう努めます。

村民の森あいの沢

オートキャンプ場のモニター利用開始から、10月末までに

ふるさとへの担い手交流会

12月4日には「ふるさとへの担い手交流会」と題し、移住された方および日頃から交流のある住民の方との交流会を開催しました。

策を徹底しながら、24名の方々に「ふるさと飯館村」の魅力を実験していただきました。

参加者からは「少数だったので村の魅力を詳しく体感することができた」などの意見があり、引き続き村の魅力発信に取り組んでいきます。

当日は約20名の方にご参加いただき、互いに情報共有をしていただくなど、新たな村の再発見につながるひとときとなりました。

令和5年飯館村成人式

1月8日、交流センター「ふれ愛館」で成人式が開催されました。成年年齢が昨年より18歳となりましたが、村ではこれまでと同様、20歳となる学年の皆さんを対象に式を行いました。村の20歳、74人のうち24人が式に集いました。



小中学校時代の恩師を招いて感謝の花束を贈呈。先生方が花束を胸に当時を振り返り祝福の言葉を贈りました。

生涯学習課と協力し素晴らしい式をつくり上げた成人式実行委員の皆さん。ロビーに設けられたフォトスポットにて。



避難の期間も前を向き続けた経験を糧に「新時代の担い手として精進します」と『誓いのことば』を述べる成人式実行委員長の神代優太さん(大久保・外内)。



清々しい表情で成人証書を受け取る晴れ着姿の20歳の皆さん。杉岡村長が壇上で一人ひとりに証書を授与しました。



懇親会の開催は見送られましたが、式の後にも写真を撮り合うなどして、再会のひとときを大切に過ごしていました。



佐々木太樹さん(二枚橋・須萱)、細杉くるみさん(前田)が『感謝のメッセージ』を発表。成長を見守り支えてくれる家族に感謝を伝えました。





飯舘 百景

寒波到来!



半分凍った岩部ダム。氷の上を雪煙が滑っていきます。



庁舎の前庭。遠くの景色が全く見えません。



雪まみれの垣根からひょっこり一枝。ちょっと楽しい。

上空に強い寒気が入り、暴風雪のニュースが九州にまで及んだ1月下旬。飯舘村でもぐっと気温が下がり、この冬一番の冷え込みとなりました。写真は比叡地区。パウダースノーが風に舞い、野山にペールをかけました。

あぶくま高原に位置する飯舘村。厳冬の寒さはひとしおです。厳しい自然を逆手に取って、寒さを生かした、凍み餅、凍み大根づくりなど、いわゆる「凍みもの文化」が育まれてきました。昨年12月にも大雪に見舞われましたが、年末年始は穏やかで、雪のないお正月を迎えました。大寒波がやって来たのは、1月下旬。低温、暴風、大雪の予報が繰り返し報道され、覚悟を決めて迎

えたものの、影響は広範囲に及び、全国の交通網に大きな打撃を与えました。この寒波のピークを迎えた1月25日、村内の「最高気温」はマイナス7度。非常に厳しい冬の1日となりました。

夜が明けると、役場の周辺も辺り一面真っ白に。出勤してきた職員が停めた自動車も、あつという間に粉雪をまとい凍りつき、オブジェのようになっていました。

冬に寒いのは仕方ないこと。村民は、こんな日でもやり過ぎ方も、きちんと知っています。それでもあまりの寒さに、皆さんの生活に支障がないようにと祈らずにはいられません。

この2月号が届く頃には立春を過ぎ、暦の上では春になります。紙面ならば、ちっとも寒くありませんから、粉雪の美しさだけを楽しんでください。

持ちましょう!お薬手帳

お薬手帳の活用方法について、「いいたてクリニック」を運営する「あづま脳神経外科病院」薬剤科の影山緑子さんに聞きました。

お薬手帳とは…

- 自分で使っている薬の名前や量、飲み方などを記録できます。
- 過去の副作用や病気、アレルギーなど、医師や薬剤師に伝えたいことも書き込めます。
- 薬局などの医療機関から無料でもらえます。

右は影山さんの自画像です!



お薬の情報を一つに

2か所以上の病院から薬をもらっていても、お薬手帳は1冊にまとめましょう。そうすることで、同じような効果の薬を飲んでしまうことを防ぎ、薬の飲み合わせを確認できます。

災害時に備えて

災害時、いつも飲んでる薬が無くなり緊急で薬が欲しい場合、お薬手帳がある事で処方せんなしに薬をもらうことができます。注)あくまで災害時、緊急に必要な場合です。

でも、持ち歩くのは面倒…
そんなときは
スマホのアプリで!!

スマートフォンをお持ちなら、様々なお薬手帳アプリが無料で使えます。難しい場合は、いつも行く薬局で相談してみましょう。



かかりつけ薬局をもとう!

いつも薬をもらう薬局を1か所に決めておきましょう。自分の体質や病歴などを分かっている薬剤師がいると、お薬の相談をしたい時や困った時に安心ですよ!

飯舘村における高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う対応について

令和4年12月7日、飯舘村の養鶏場で飼育されていた鶏から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出され、福島県の主導により12月7日から当該養鶏場の鶏10万3,119羽の殺処分と埋却、鶏舎の清掃消毒が行われ、12月11日に完了しました。この防疫措置に係る人員の動員は延べ885名(県職員646名、村職員36名、その他相双管内市町村職員142名、団体職員61名)でした。

また、養鶏場を中心に半径3km圏内は家さん等の移動が禁止される移動制限区域に設定されていましたが、調査の結果、周辺環境等の異常がなかったため、令和5年1月2日0時に移動制限区域が解除され、関連する対応はすべて終了となりました。

今回の防疫措置に対しての、村民の皆様や関係機関のご理解、ご協力に心から御礼申し上げます。

申請・登録はお済みですか?

マイナンバーカード



マイナンバーカードの取得、健康保険証としての登録・公金受け取り口座の登録で、最大2万円分のマイナポイントがもらえるキャンペーンが、2月末日まで延長されています。キャンペーンが始まる前にカードを取得された方も対象になります。

スマホからカードの申請ができます

- ① まずはスマホで顔写真を撮影。画面の案内に従って申請。
- ② 交付申請書のQRコードを読み取る。
- ③ 規約に同意し、メールアドレス等を登録。
- ④ メールで届くURLで専用サイトを開く。
- ⑤ 顔写真を登録、必要事項を入力して申請完了。



23桁の申請書IDは交付申請書の右上に記載されています。

専用ウェブサイトからも申請できます。

交付申請書の右下のQRコードからスタート。



窓口以外で申請した場合
カードの受け取りは窓口で

申請書の郵送や、オンライン(スマートフォン、パソコンなど)で申請をした場合、カードの受け取り場所は役場窓口になります。一方、申請を役場の窓口で行った場合は、本人限定受取郵便でカードは郵送されます。本人確認を行うため、申請または受け取りのどちらかを、役場窓口で行うようになっています。

お住まいの市町村窓口でも申請できます

同封のチラシもご確認ください。
※12月に同封したチラシと同じものです。

東日本大震災により避難している方々は、現在お住まいの市区町村窓口で、「マイナンバーカード」の交付申請ができます。カードは、後日、本人限定受取郵便で郵送されます。

スマートフォンやパソコンからのオンライン、又は郵送で申請した場合、カード受け取りには必ず、飯舘村役場までお越しいただくことになります。避難先市町村の窓口では、受け取り出来ません。飯舘村役場までお越しいただくことが難しい場合は、オンライン申請や郵送での申請等はせず、現在お住まいの市区町村窓口にて手続きをお願いします。

ここ大事!

役場窓口での申請は事前予約を!

住民課住民係 ☎0244-42-1618

- 平日は午前9時～午後4時30分(昼休みを除く)。
- 時間内の来庁が難しい方を対象に臨時窓口も開設中。日時はお知らせ版で確認を。

マイナポータルからオンラインで転出届の提出が可能に

令和5年2月6日から、転出届についてマイナポータルを通じたオンラインでの届け出が可能になりました。このサービスを利用する方は、転出にあたり飯舘村役場への来庁が原則不要になります。

電子証明書が有効なマイナンバーカードをお持ちの方で、日本国内で引越しをする方が対象です。ご自身だけの引越しの他、ご自身と同一世帯員、ご自身以外の世帯員の引越しでも利用が可能です。詳しくはデジタル庁のホームページで。※ただしマイナポータルを通じて転出届を提出した後は、別途、転入先市区町村の窓口で転入届等の手続きが必要です。

村民ボランティアの皆さんと 学園1年生がだんごさし



「いいたて学」の一環となる活動です。村の皆さんと触れ合いながら、伝統行事を体験しました。

1月13日、いいたて希望の里学園で、1年生が「だんごさし」を行いました。活動には、村民ボランティアとして、村老人クラブ連合会の皆さんが協力しました。子どもたちは、行事の意味を教わりながら、村民ボランティアと共に、今年の豊作を祈願する赤・青・黄・白色などのだんごをつくりました。

いよいよ仕上げの飾り付け。子どもたちは、たくさんのだんごを、根気よく楽しそうにミズキの枝にさしました。完成しただんごさしは、玄関、校長室、廊下などに飾られ、校内を美しく彩りました。

戸田建設株式会社から 絵本が寄贈されました

12月21日、までのりの里のこども園に、戸田建設株式会社東北支店から74冊の絵本が寄贈されました。贈呈式には3歳以上児のそら組・つき組・たいう組が参加し、そら組の代表園児が「絵本をたくさん贈っていただきありがとうございます。いっぱい読みたいと思います」とお礼のあいさつをし、感謝を伝えました。式の後、園児たちはさっそく興味のある絵本を手に取り、夢中で読んだり、お友だちと楽しんだり、目をキラキラ輝かせながら絵本と触れ合いました。



学級ごとに絵本を楽しむ園児たち。絵本が大好きな子どもたちへの素敵なプレゼントとなりました。

第69回文化財防火デー 善應寺で防火訓練を実施



1月26日の『文化財防火デー』を前に行われた訓練。写真は善應寺の屋根に向けた一斉放水訓練の場面。

1月22日、善應寺(飯樋町)で『文化財防火デー 消防訓練』を実施しました。今回の訓練には、善應寺、村教育委員会、村文化財保護審議会、村消防団、役場消防隊、南相馬消防署飯館分署が参加。善應寺の庫裡からの火災発生を想定し、善應寺関係者による初期消火・避難誘導・重要物品の搬送訓練と、消防団・役場消防隊・飯館分署による一斉放水訓練を行いました。昭和30年から続く『文化財防火デー』。訓練を通して、村の文化財に対する理解と認識を深め、防火の意識を高めました。

令和5年消防出初式 決意新たに消防活動を開始

1月8日、いいたて希望の里学園の体育館で、令和5年飯館村消防出初式が行われ、村の消防団、女性消防隊、役場消防隊ら合わせて87人が参加しました。

式では、杉岡村長が、「信頼と期待に応え、貴い人命と貴重な財産を守る重責を担っていただいていることに、村民を代表して心から感謝申し上げます」と述べ、献身的な取り組みに感謝を伝え一同を激励しました。また、式の後には、永年勤続の表彰も行われました。



体育館で行われた出初式。消防団員が隊列を組み、杉岡村長、赤石澤傳団長(飯樋町)らが観閲しました。

今年もイイタネちゃんに たくさんの年賀状が届きました



デジタル化が進む時代ですが、手書きの年賀状に心があたたまりますね。イイタネちゃんも大喜びです。

飯館村公式キャラクター「イイタネちゃん」に、全国各地・幅広い年代の方々から今年も年賀状が届きました。1月20日までに届いた年賀状は60通。1つひとつの年賀状に、心の込もった応援メッセージが書かれており、イイタネちゃんを応援してくれている方がたくさんいることが、年賀状から伝わります。

イイタネちゃんもすべての年賀状にじっくりと目を通し、心を込めてお返事を出しました。日頃からイイタネちゃんを応援してくださっている方々、本当にありがとうございます。

までのりの里のこども園 みんなで手づくり「だんごさし」

1月13日、までのりの里のこども園で、小正月の伝統行事「だんごさし」が行われました。だんごづくりはそれぞれの学級で行い、小さな手のひらでコロコロと、たくさんのだんごをつくりました。続いて、大きな鍋でゆでる様子もみんな観察。完成したカラフルなだんごをホールに飾り、美しいだんごさしを完成させました。



「ミズキの木が明るくなるね」と話しながら、小さな手で一生懸命だんごさしを行いました。

いいたて村芸能発表会



2/19 日

午後1時開演
交流センター「ふれ愛館」

過去のステージから

2月19日、交流センター「ふれ愛館」で、「いいたて村芸能発表会」を開催します。震災後は初めての開催で、村の文化サークルや芸能保存会がステージ発表を行います。なお、参加団体の一つ、「八木沢の田植踊」は、この日が復活のお披露目となります。観覧申し込みの詳細は、同封のチラシをご覧ください。皆様お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。(生涯学習課 ☎0244-42-0072)

福島大学食農学類報告会



2/16 木

午後1時20分～
交流センター「ふれ愛館」

「福島大学食農学類・飯館村フィールド活動報告会」が、2月16日に、交流センター「ふれ愛館」で開催されます。

「飯館村の地域資源を生かした賑わいづくり」をテーマに、村内で食農実践演習に取り組む学生の皆さんの報告です。村民の皆さんも、ぜひご参集ください。参加は無料で、申し込みも不要。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

1月の村の動きと主なできごと

- 4日・仕事始めの式(村役場)
- 8日・令和5年飯館村消防出初式(いいたて希望の里学園)
- 8日・令和5年飯館村成人式(交流センター「ふれ愛館」)
- 10日・農業委員会 和牛セリ視察(本宮市・福島県家畜市場)
- 12日・渡辺博道復興大臣 来庁(村役場)
- 16日・新型コロナウイルス感染症対策本部会議(村役場)
- 17日・人権擁護委員会議(村役場)
- 20日・農業委員会定例総会(村役場)
- 20日・第7回長泥地区除染検証委員会(ビレッジハウス)
- 22日・文化財防火デーに伴う防火訓練(善應寺)
- 23日・飯館村議会第1回臨時会(議場)
- 24日・定例教育委員会(村役場)
- 25日・認知症カフェ「ゆずカフェ」(交流センター「ふれ愛館」)
- 26日・コロナワクチン(オミクロン株対応ワクチン)集団接種(いちばん館)
- 26日・花卉セミナー(交流センター「ふれ愛館」)
- 27日・福島県原子力防災訓練(村内各所)
- 29日・「ふくしまフェスタ」出展(東京都・ららぽーと豊洲)
- 31日・第4回飯館村行政区長・副区長会議(交流センター「ふれ愛館」)
- 31日・学校運営協議会(村役場)

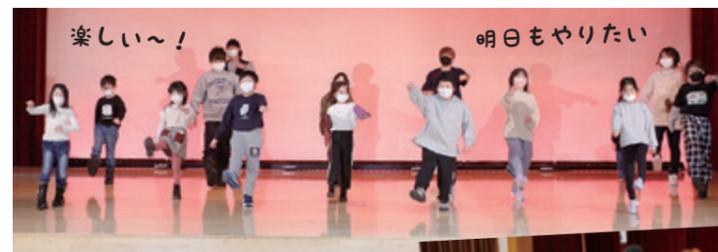
人事異動のお知らせ 令和5年2月1日付 住民課住民係 大橋未来 (旧任・総務課総務係)

笑顔が集う「永井川カフェ」



毎月バラエティに富んだ内容で村民の交流の場を創出している「永井川カフェ」。昨年12月20日には、活動拠点となっている永井川集会所(福島市)で、「ゆきフラワースクール」の伊藤幸子先生(写真前列中央)を講師に迎え、季節のフラワーアレンジメントを楽しみました。「永井川カフェ」の開催情報はお知らせ版に掲載しています。皆さんもぜひ気軽に参加してみたいですか。

福大生と「飯館deダンス」



飯館までい文化事業団と福島大学行政政策学類大黒ゼミの共同企画「飯館村体験博覧会」こちら五合目「応答せよ！」が、11月から3月初旬まで、多彩なプログラムで連続開催されています。12月26日には、学童保育の子どもたちがストリートダンスのワークショップを元氣いっぱい楽しみました。

この講座では、「ロックダンス」と「ブレイクダンス」という2つのジャンルのストリートダンスを体験。大黒ゼミの学生でダンサーの河野尚通さん、高野蓮さんが講師を務めました。



ほっとコーナーに四季の写真



写真を趣味とし、四季の風景や旅先の写真を撮影している渡部功さん(草野)。役場を訪れる人に、写真を通して四季を感じてもらおうと、窓口カウンターに折々の写真を飾ってくださっています。1月には引き伸ばした冬の写真をご提供いただき、早速ほっとコーナーに展示しました。この白鳥の写真は、相馬市の飛来地に1か月余り通って撮影したもので、飛び立つ一瞬を見事に捉えています。

門松を飾っていただきました



年越しを前に、造園業を営む塚越栄光さん(草野)が、役場の入口に手づくりの門松を飾っていただきました。また、「いいたて村の道の駅までい館」には、飯館村商工会青年部が門松を飾っていただきました。青年部の門松は、成人式を催す交流センター「ふれ愛館」のエントランスも飾りました。新春を迎える清々しい心持ちを、それぞれの場で共有することができました。ありがとうございました。

ふれあい館の向かい側、何かが始まる…!

どうも、協力隊の横山です。今年の春に向けて飯館村に人の集う場所を計画中!

今現在オープンに向けて絶賛準備中です。

詳細は追ってお伝えできればと思いますが、村民の皆さんがゆっくり座って友達とお話を楽しんだりするような空間を作りたいと考えています。

オープンまでに施設の中で村民の方と商品開発を行ったり、何かイベントを挟んでいきたいのでよろしくお願い致します。



今月のライター
飯館村地域おこし協力隊
横山 梨沙さん

おいしい飯館！ままでの食卓

生産者の皆さんにおいしい食べ方を聞いてみよう！

栄養価が高く食物繊維も豊富。赤飯やあんこ、お汁粉などに使われ暮らしを彩る食材です。



小豆の巻
あずき

ゆで小豆を冷凍保存するとさっと使えて便利です。

小豆(赤アズキ)は、サヤが茶色になってから収穫し、干してカラカラにします。昔は叩いてサヤを外したようですが、我が家では一つずつサヤをむいています。子どもの頃に親の背中を見ていた作業で、懐かしさがありますね。しっかり干したアズキは、広口の大きなペットボトルに入れ、米を置く暗所に保管しています。ゆで小豆にする時は、炊飯に使っていない古い電気釜を使い、たくさん作って冷凍保存しています。



大東和子さん
(宮内)

直売所に豆類や野菜を出しています。一昨年からは牧草畑にしていた圃場でリンドウの栽培も始めました。



うまい!!

栗ようかん

ゆで小豆と栗と一緒に煮て、お好みの量の砂糖、少々塩、水で戻し煮溶かした寒天を加え、タッパーに入れて冷蔵庫へ。食べる時に切り分けます。

渋皮を取った栗も冷凍保存してあるそうです。

ゆで小豆を火にかけ、かき混ぜながら煮ていくと皮ごとつぶれていきます。砂糖と塩少々を加えて、あんこが完成。もち米を炊いて好きな大きさに丸め、あんこで包んでおはぎに。



おはぎ

砂糖は小豆がやわらかく煮えてから加えましょう。

はなれていても

竹之下道子さん(元飯館小学校長) 福島県福島市在住



保護者から贈られた赤いポロシャツには「わ」の文字。成人式で再会した卒業生から受け取った花束を胸に抱いて。

平成20年に飯館小学校に校長として赴任し、翌年から「エコキヤップ運動」を始めました。資源をリサイクルし、売却益で発展途上国の医療支援を行う運動です。「誰かの役に立てる」と知った子どもたちが自主的に取り組むようになり、集まったエコキヤップは2年間で1トンを超えました。

招いて七夕コンサートを開いたり。あいさつ運動、田んぼづくり、学力向上にも力を入れました。副読本「わたしたちの村の村いいたて」は調査をしながら制作しました。子どもも村の人も一生懸命で輝いていて、すごい村だと思っていました。たくさん協力があり、本当にお世話になりました。避難をして、3つの小学校が川俣中学校で一緒に学校生活を送るようになり、学校使りのタイルを「いいたてっ子」としました。そして私はその年の8月に異動。この赤いポロシャツは、離任の時に保護者の皆さんからい

ただいたものです。離任の日は朝から晩まで泣いていました。その後も迷ったり困ったりした方が、連絡をくれる時がありました。平成27年の福島市での「里帰り会」には、北海道や大阪から来てくれた方もいました。私の実家は浪江町津島にあり、村とは深い縁がありました。私の曾祖父・今野美壽は津島の村長をしていて、退任後に「相馬藩政史」を著しました。この本は「飯館村史」にも多く引用されています。この曾祖父が菅野義人さん(比曾)の曾祖父・雄龍さんと懇意にしている、100年前に曾祖父が書いた手紙を、震災のわずかひと月前に菅野さんから譲り受けていたのです。私はそれをお守りのように校長室の本棚に入れていました。不思議な縁に導かれ、未曾有の危機に立ち向かうため、あの時私が飯館にいたのではないかと運命を感じています。慣れない土地で頑張ってきた子どもたちと今回成人式で再会ができたこと、心から感謝しています。離れていても、私はいつまでも、みんなの応援団です。

交流センター「ふれ愛館」だより

おすすめ図書を紹介します

成人式にて『20歳の20冊』を20歳の皆さんへ贈りました

今年度も一般財団法人出版文化産業振興財団(JPIC)のご協力のもと、『20歳の20冊』の冊子を制作しました。遠藤教育長を始め、各界の著名な方々にも選書をしていただいた20冊を紹介する冊子です。

この冊子に掲載されている本の中から、20歳の皆さんがそれぞれ自分で選んだ1冊を、成人式で贈呈しました(式への出席が叶わなかった皆さんへはお送りしました)。また、この20冊は、交流センターで貸し出しを行っています。新たな本との出逢いのきっかけに、ぜひ手に取ってみてください。



清々しい冬の 出会いに寄せて

杉岡 誠 村長の 愛楽故郷味

第7回

あいらくふるさとみ



平成23年4月20日、小学校3年生の始業式が村内小学校で過ごす最後の日となった方々が、この度20歳とられました。語り尽くせぬ想いを胸に「艱難（かんなん）汝（なんじ）を玉（たま）にす」の言のとおり、12年の時を経て立派に成長されたことを心からお慶び申し上げます。

「ひと」こそが村の力であり、宝です。いきいきとした新成人の皆さまのお姿を前にして、「若い力」に期待が募るとともに、私自身もかつてに思いを馳せて、身が引き締まる思いがしました。皆さまの前途が幸多きものであるよう、心よりお念じ申し上げます。

1月25日からの寒波で、村にも久しぶりに粉雪が降り積もりました。氷点下10度の外気温に不思議と清々しさを感じつつ、歩みとともにキュッキュッと鳴く雪に童心をくすぐられました。

私は村の雪景色が大好きです。生活においては時に困難な面をもたらす積雪ですが、青空のもとに輝く雪景色には、そこはかとなく心惹かれる美しさがあります。

その昔、軒下に来た大きな氷柱（ツララ）から滴る雫を飽きずに眺めていたことや、凍った道路で長靴スケートをしたこと、鼻が凍りそうな寒い朝にダイヤモンドダストを見たことなど、村の寒さと雪景色にわくわくさせられてきた想い出が呼び起こされます。皆さまにとっては、どのような雪の思い出があるでしょうか？

新年が始まったと思ったら、もう一月も終わりです。一刻一刻の重さを味わいながら、本年も邁進していく所存です。

ひとのうごき

誕生おめでとう



赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
石川 颯くん	聡さん・美保さん	比曾
佐藤 叶来ちゃん	賢二さん・知恵さん	上飯樋

(12月16日から1月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

ひとのうごき 令和4年12月31日現在

人口	今月(前月比)	12月1日~31日までの人口動態
●男	2,419人(-6)	転入 3人
●女	2,403人(-12)	転出 17人
計	4,822人(-18)	出生 1人
世帯数	1,808戸(+1)	死亡 5人
		(住民基本台帳人口)

おくやみ



氏名	年齢	行政区
鈴木 四子さん	91	小宮
八巻 千佳子さん	87	草野
高橋 政幸さん	97	八木沢・芦原
齋藤 常義さん	91	深谷
田邊 巖さん	68	大久保・外内
志賀 ヨシ子さん	100	蕨平
嘉藤 軍治さん	82	白石
森 ハナヨさん	92	上飯樋
高橋 繁文さん	73	長泥

ご冥福をお祈り申し上げます

ふるさと資源 発掘図鑑!



#いいたてホームのお正月

いいたてホームに出現した赤い鳥居。コロナ禍の影響でお出かけがままならない入居者さんに初詣をしてもらおうと、職員さんが手づくりしたそうです。立派な鳥居には「一笑満金神社」の文字。笑顔の写真や願い事が入った絵馬もあります。小正月にはだんごさしも飾られました。職員さんのやさしさに、心がほっこり温かくなりますね。



皆さんからの情報や投稿でつくるページです

どなたでも投稿できるコーナーですので皆さんも身近な話題をどしどしお寄せください!

飯舘村広報委員会(村づくり推進課企画定住係)
☎0244-42-1613



#齊藤次男さん自分史が完成

齊藤次男さん(深谷)が自分史『古里は忘れ難きかな』を完成させました。約250ページに及ぶ立派な本です。齊藤さんは写真と文で自身と家族の歩みを記し、昭和元年から始まる年表には、世界・日本・県・村・齊藤家のできごとを併記しました。齊藤さんは「家族や親族に生まれ育った時代を振り返ってもらえたら」と笑顔で話していました。

村民広報委員 ふじおさんの



いいたて 宝さがし

年間100回!

今回は飯舘村老人クラブ連合会体育部長の高橋則雄さん(二枚橋・須萱)を紹介します。

則雄さんは地区の老人会寿会の会長をされており、地域の美化活動を行っています。春と秋には近くの十一面観世音菩薩堂で地域の方々と一緒に祭りなどもし、その管理もされているということです。

とにかく身体を動かすことが大好きで、皆さんもご存知のとおりパークゴルフの腕前は村でも常に上位クラスです。妻のヤス子さんもかなりの腕前です。「年間100回はプレーするかな?」とちょっとはにかんだ丸い笑顔で話してくれました。

訪ねた日も仲間と相馬の方にプレーに行ってきたようですが、プレーした後は各家庭持ち回りでごちそうを持ち寄って、反省会を楽しくするそうです。

「昔は経済的にまずしく出稼ぎなどもしたけれど、とにかく丈夫に育ててくれた両親に感謝して、地域の方々と丈夫で元気に活動していくことが『宝』。恩返しをしたい」と話してくれました。



第4回電気工事技能競技全国大会 鹿山真史さんが日本一の栄冠に輝く

昨年11月30日と12月1日に横浜アリーナ（神奈川県）で開催された『第4回電気工事技能競技全国大会』で、鹿山電気商会の鹿山真史さん（深谷）が見事優勝を果たし、金賞・経済産業大臣賞と『ジャパンエススキルチャンピオン』の称号を手に入れました。

鹿山さんは、福島県代表として本大会に出場し、1日目の学科競技、2日目の技能競技に臨みました。技能競技では全選手が難解な課題に苦しみましたが、鹿山さんは時間に余裕を持って作業を終了。正確な技術も高く評価されました。表彰式で優勝者として登壇

した鹿山さんは、「福島県飯館村、鹿山電気商会の鹿山真史です」と故郷の名を高らかに呼び涙。「私だけの力ではない」と、先輩や仲間の協力に感謝しました。『やればできる』と信念を持って真摯に競技に取り組んできた鹿山さん。努力を重ねて手にした栄冠です。



一般の部には53人が出場。技能競技は180分の制限時間内に課題に基づき作品を完成させます。



表彰式でチャンピオンフラッグを受け取る鹿山さん。



12月27日に来庁し、杉岡村長に全国優勝を報告。

Native Speakers 第22回

ネイティブ・スピーカーズ 飯館言葉の達人たち

その意味は：
ゆんべよっぴで
むさんこやったの!?
どのってね



スマホのカメラをかざしてYouTubeで見てください

または検索で！
飯館村 YouTube

〈編集後記〉

● だんごさしや成人式の振袖など、本号の紙面を振り返ると、カラフルな1か月だったなあと感じます。そんな中での「どか雪」。飯館村では珍しくもないのかもしれませんが、この寒さと積雪を、子どもの頃から乗り越えてきた村民の皆さんを本当に尊敬します。雪に大喜びしていた幼き日を懐かしく感じました。（菅野）

● 毎年楽しみに前田地区のイルミネーション。「ま」「え」「た」が点滅する素敵なデザインです。運転しながら通りかかり、この華やかさ元気が出るなあと思っていました。ツリーかと思っていた部分、もしかや牛のツノ!? 牛の横顔が見えてきて、降りしきる雪の中、思わず車を降りて確認してしまいました。（星）

